

教育関係者 各位

日本ピア・サポート学会北海道支部 主催
日本ピア・サポート学会、北海道教育委員会、南北海道教育臨床研究会 後援

北海道支部 第9回 ピア・サポートトレーナー養成ワークショップ

2014年1月11日(土)～12日(日)

参加者募集中

ピア・サポートの学校への導入が強く叫ばれています。それとともに、子ども同士が互いに支援し合うピア・サポート活動の指導やそれに至るトレーニングを行うことができるトレーナーの養成が急務です。このワークショップは、日本ピア・サポート学会認定の「ピア・トレーナー」の資格取得の規定に基づいたカリキュラムを2日間にわたり行うものです。ピア・サポートの概論からトレーニング、サポート活動、マネジメント等を系統的に学び、修了後は要件を満たせばトレーナーの資格申請をすることができます。

北海道支部主催のこのワークショップには、これまでに管理職を含む多数の教員や教育委員会職員、スクールカウンセラー、保健師、病院心理職、会社員、学童保育指導員、主婦、文化団体指導者等々の様々な分野の方々が参加されております。人間関係作りに関心のおありの方はどなたでも受講できますので、どうぞ、お気軽にご参加ください。

- 1 日 時 2014年 1月11日(土) 9:00～20:30
1月12日(日) 9:00～16:00
- 2 場 所 札幌市教育文化会館 (札幌市中央区北1西13
地下鉄東西線「大通り11丁目」1番出口から徒歩7分)
- 3 講 師 石垣 則昭 (学会理事、ピア・コーディネーター、登別市立幌別中学校長)
齋藤 敏子 (学会理事、ピア・コーディネーター、北海道公立学校SC)
長野喜美子(支部理事、ピア・コーディネーター、北海道八雲高等学校養護教諭)
アイスブレイク等の補助講師として、松本伸吾、森 正人
- 4 参加費用 一般 15,000円。 支部会員で再受講者は資料代のみ 5,000円。
メールか電話で申込後に、下記へ振込願います(参加者と振込名義が違う場合は連絡を)。
ゆうちょ銀行 九四八(読み;キュウヨンハチ)支店 普通預金
口座番号:0042351 口座名義;日本ピア・サポート学会北海道支部
(郵便局から送金の場合は手数料無料。記号;19430 番号;423511 詳細は窓口で。)
- 5 お申込み、お問い合わせ ① Email; peerkitasibu@ncv.jp
② 電話 ; 090-3778-8850

申込者の(1)氏名(よみがな)、(2)性別、(3)年齢、(4)勤務先名(職名)、
(5)連絡先(Eメール or FAX)、(6)2日目弁当注文有無 (7)支部会員は会員番号

6 締めきり 12月24日まで。

<裏面もご覧ください>

★北海道支部 第9回ピア・サポートトレーナー養成ワークショップ <内 容>
<1 日目> 平成26年1月11日(土)

時間	領域	内容	講師
9:20～ 9:35	15	開講式	
9:40～11:00	80	ピア・サポート概論	定義、歴史、特性、全体像 齋藤
11:10～12:10	60	コミュニケーションⅠ	コミュニケーション、足し算トーク 石垣
		(昼 食)	
13:10～13:45	35	コミュニケーションⅠ	心のハート 石垣
13:45～15:50	125	コミュニケーションⅡ	一方通行、FELOR、傾聴、非言語 齋藤
16:00～17:00	60	課題可決のスキル	5つのステップ、ブレインストーミング 齋藤
		(夕 食)	
18:00～19:30	90	対立解消	考え方と方法、AL'Sの法則 石垣
19:40～20:30	50	実践者からの報告	発表(20' + 質疑 5')×2

<2 日目> 平成26年1月12日(日)

時間	領域	内容	講師
9:05～10:35	90	トレーニング、プランニング	留意点、トレーニングプログラム 長野
10:45～11:55	70	危機対応	サポーターの危機、守秘義務 石垣
		(昼 食)	
12:30～13:50	80	フリーディスカッション	質疑応答、シェアリング 長野
14:00～14:50	50	導入のデザイン	リソースを探そう、企画する 長野
15:00～15:40	40	評価の意義・方法	意義・方法・質問紙・(おまけ) 齋藤
15:40～15:50	10	閉講式	

※昼食は会館のレストランから研修室まで、幕の内弁当600円で出前してもらえます。
希望者は参加申込の際に申し込んでください(当日では間に合いません)。代金は当日に徴収します。弁当を申し込まない場合は、朝のうちに各自準備してください。昼食時間は 30 分間です。

★用語説明

- ピア・サポート (Peer Support) 子どもたち同志で支援することができる力をトレーニングやサポート活動を通じて育成し、思いやりあふれる学校風土を醸成していく教育活動
- ピア・サポーター (Peer Supporter) ピア・サポート活動を実際に展開するトレーニングを受けた子ども
- ピア・トレーナー (Peer Trainer) サポーターとなる子どもをトレーニングする教師
- ピア・コーディネーター (Peer Coordinator) トレーナーを養成するスーパーバイザー

★ワークショップ修了後のピア・トレーナー資格認定申請手続きについて

1. 日本ピア・サポート学会に入会していること (入会金 3000 円 年会費 5000 円)
2. 養成研修修了証明書を添付して申請書を提出すること (審査料 5000 円)
3. カウンセリングに関する研修歴が 24 時間以上あること (研修証明書の写しを提出)
4. ピア・サポートに関する実践レポートを提出すること (A4 用紙に 4 枚程度)
5. トレーナー資格は 5 年後に更新手続きをしなければ失効する